福祉だより あわい

編集・発行
粟井地区社会福祉協議会
松山市久保８８番地
松山市粟井公民館内

粟井の動き

人　口　6,313人
(65才以上人口2,474人)
高齢者人口比率　39.2%
世帯数　2,687戸
(令和8年7月1日現在)



粟井地区の皆さんへ
―つなぐ つながる つながろう―

粟井地区社会福祉協議会 副会長　定松修一
(粟井スポーツ少年団本部長)

地域の皆さまには、日頃より粟井地区社会福祉協議会の活動に温かいご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。私たちの取り組みは、地域の皆さま一人ひとりの参加と支えによって成り立っています。

さて、高齢化が進む中で、子どもから大人まで誰もが安心して暮らせる地域であり続けるためには、「**人と人がつながる力**」がますます重要になっています。粟井地区社会福祉協議会は、そのつながりを育み、広げ、未来へとつないでいく役割を担っています。地域行事やサロン活動、見守り活動、子育て支援、災害時の助け合いなど、日々の取り組みはすべて「つなぐ」ことから始まります。誰かの声に耳を傾け、気づき、寄り添うことで、地域の安心は形づくられていきます。

粟井地区は、公民館や小学校、各地域で、世代を超えて人が集まり、学び、育ち合うコミュニティ活動が活発に行われています。その象徴の一つが、長い歴史を持つ「粟井スポーツ少年団」です。スポーツを通じて、子どもたちは体力だけでなく、仲間を思いやる心、最後までやり抜く力、そして地域への誇りを育んでいます。地域の大人が支え、子どもたちが挑戦し、仲間とともに成長する姿は、まさに「つながる力」の結晶です。

これからも粟井地区社会福祉協議会は、地域の皆さまとともに、つながりを大切にしながら、誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めてまいります。そして最後に、未来を担う子どもたちの健やかな成長のため、**粟井スポーツ少年団への入団を心よりお待ちしております**。スポーツを通じて仲間とつながり、地域とつながり、未来へつながる経験を、ぜひ粟井で育んでください。

令和８年度 粟井地区社会福祉協議会 役員名簿

会長	副会長	副会長	事務局長	援護部長	啓発調査部長	会計	理事	理事	理事	監事	監事	顧問	顧問
清水　博文	郷田　友和	定松　修一	茅原　明美	有田　貴代	有田　文宜	山田　俊彦	伊原　健次	西原　功	高橋　元樹	水石　貞子	白石　恵子	川西　潤	竹下　稔

粟井地区社会福祉協議会

令和８年度事業計画

４月	役 員 会
５月	総　　会
６月	各団体への助成金の配当 自主防災連合会、青少年健全育成推進協議会、民生児童委員会、9サロン、 ボランティア3団体⇒（日赤奉仕団・ふれあい女性部・放課後子供教室） 児童クラブ、スポーツ少年団
８月	福祉だより「あわい43号」発行　配布9月
7~8月夏休み	粟井児童クラブ「夏の活動」への助成
９月中	敬老訪問
９月	囲碁・将棋交流会
10月	男性料理教室
10月	給食サービス
10月~12月	共同募金活動
11月	粟井公民館まつり参加（おはぎと赤飯を販売）
11月	いきいき健康教室
12月	給食サービス
12月	社会福祉1日研修会
12月中	歳末等助け合い助成活動
１月	いきいきサロン交流会
１月	給食サービス
２月	卒業生との郷土料理作り会
２月	給食サービス
３月	男性料理教室
３月	福祉だより「あわい44号」発行　配布3月

社会福祉協議会の活動は、地域の皆様のご理解とご支援により成り立っています。本年もどうぞ宜しくお願い致します。



令和７年度決算報告

収入の部	
地区社会福祉協議会会費	637,200
共同募金配分金	825,800
福祉活動費（市社協より）	80,000
寄　付　金	50,000
雑　収　入	74,480
繰　越　金	478,326
収入合計	**2,145,806**

支出の部	
会　議　費	3,792
事　務　費	20,821
通　信　費	36,620
交　通　費	14,100
実費弁償費	68,000
負担金（市社協会費）	10,000
保険料（ボランティア保険）	700
助成金（ボランティア3団体）	60,000
助成金（粟井地区自主防災連合会）	30,000
助成金（青少年健全育成推進協議会）	30,000
助成金（民生児童委員協議会）	60,000
助成金（児童クラブ）	50,000
助成金（9サロン）	120,000
助成金（スポーツ少年団）	20,000
卒業生を送る会	119,444
敬老訪問	211,000
給食サービス	495,290
男性料理教室	30,711
研　修　費	59,650
歳末たすけあい	96,000
健康教室	13,792
サロン交流会	40,800
囲碁将棋交流会	21,741
消耗品費	64,892
予　備　費	0
支出合計	**1,677,353**

※収支残高　収入合計 2,145,806円 － 支出合計1,677,353円 ＝ 468,453円（次年度繰越金）

在宅医療をご存じですか？

病気になっても、住み慣れた我が家で暮らし続けるために



在宅医療とは？

高齢や病気などにより通院が難しくなった方に対して、
医師や看護師などがご自宅（住宅型施設も含む）を訪問し、
診療や療養支援を行う仕組みです。
住み慣れた地域やご自宅で、自分らしい生活を続けながら
医療を受けることができます。



こんな時に利用されています

- ☑ 通院が難しくなった
- ☑ 退院後の療養が必要
- ☑ 認知症があり通院に不安がある
- ☑ がんや難病の療養を続けたい
- ☑ 最期まで自宅で過ごしたい



在宅医療を支える専門職

多くの専門職が連携し、ご本人やご家族の生活を支えます。



チームで連携し、切れ目のないサポートを行います。

ご相談はこちら

松山市在宅医療支援センター

〒790-0014
松山市柳井町２丁目85番地

電話 089-915-7780

看護師・社会福祉士がご相談をお受けしています。

「どんな人が利用できるの？」
「自宅で療養できるの？」
「誰が何回くらい来てくれるの？」

そんな時はお気軽にご相談ください。



住み慣れた地域で、いつまでも自分らしく暮らし続けるために。

在宅医療は、皆さんとご家族の暮らしを支える仕組みの一つです。

地域で支え合う　安心のまちづくり　栗井地区社会福祉協議会

北条の5の心得シカとして 消費者被害防ぐシカない



特殊詐欺にご用心！

「なりすまし詐欺」の典型的パターン

●「すぐにお金を用意しないと大変なことになる」など言って緊急性を訴えます。
●警察などになりすまし、電話やLINEで取り調べをします。
※警察は、電話やLINEで取り調べをすることはありません！

「還付金詐欺」の典型的パターン

●社会保険事務所や税務署等の職員になりますまし「納めすぎたお金があります」などと電話をかけてきます。
●払い戻しの手続きと思わせて金融機関のATM操作をさせ、逆にお金を振り込ませます。
※「携帯電話を持ってATMへ行ってください」は詐欺のサイン！
※警察は、電話やLINEで取り調べをすることはありません！







相談窓口のご案内

消費者ホットライン　188（局番なし）
平日：松山市消費生活センターに繋がります

松山市消費生活センター　089-948-6382



秘密は守ります　無料 相談は無料です　安心してご相談ください